

紀要

- 石器製作からみた矢柄研磨器という道具…………… 重田 勉 (1)
- 近江湖西地域の土師器
—古墳時代中期から後期にかけて—…………… 籠尾 拓幸 (7)
- 滋賀県内出土の須恵器貯蔵器1
—古墳時代中期を中心に—…………… 高島 悠希 (13)
- 志賀・中村狐塚古墳測量調査報告…………… 辻川 哲朗・福井 知樹 (24)
- 犬上川右岸における集落の変遷
—彦根市福満遺跡を中心として—…………… 中川 治美 (37)
- 高島郡出土の底部糸切り土師器に関する基礎的研究
—「皿化」についての一考察—…………… 川嶋 泰輔 (51)
- 中世観音正寺の中心伽藍について
—観音寺城と観音正寺その(4)—…………… 伊庭 功 (61)
- 近江地域の近世銭貨…………… 森田 真由香 (70)

38

近江地域の近世銭貨

森田真由香

目次

1. はじめに
2. 集成の方法
3. 銭貨集成の結果
4. おわりに

— 論文要旨 —

近江地域では、発掘調査や不時発見により多くの銭貨が見つまっている。本稿では、寛永通寶をはじめとした近世の出土銭貨を集成した。近江地域で近世銭貨が出土した遺跡は74遺跡あり、その数は合計2,000枚以上にのぼる。金貨・銀貨の出土事例も確認されており、湖底遺跡から豆板銀が出土した例や、現存寺院から小判金・一分判金が合計100枚以上発見された例がある。

近世銭貨の出土事例について集成することは、近世の貨幣流通、とりわけ通貨が渡来銭から寛永通寶をはじめとした国内公鑄貨幣に切り替わる様相を、より実態に即して把握する上で重要となる。今後も出土事例の収集を継続する必要がある。

——— キーワード

寛永通寶 天保通寶 小判金 近江地域

1. はじめに

発掘調査や不時発見（発掘調査を経ず、農作業や工事等で銭貨が見つかること）により各地で銭貨が見つかることが度々あるが、寛永通寶をはじめとした近世銭貨もその例外ではない。近江地域においては、過去に古代銭貨（辻川 2005）・渡来銭貨（小島 2014・2024）の集成が行われてきたが、近世銭貨の集成については行われていなかった。

中世では通貨として渡来銭貨（および模鑄銭）が使われていたが、近世では徳川幕府公鑄の金貨・銀貨・銭が通貨として使われるようになる。こうした中世から近世にかけての通貨の切り替わりについては、鈴木公雄が六道銭を対象としてセリエーション分析を行っている（鈴木 1999）。出土遺構を問わず同様の分析を行うことで、通貨の切り替わりを含めた近世の銭貨流通について、より実態に即した様相を明らかにすることが期待できる。本稿では、近江地域における出土近世銭貨の集成を行い、上記を含めた今後の諸研究に資する基礎的なデータを提供する。

2. 集成の方法

（1）集成の方法

古代銭貨（辻川 2005）・渡来銭貨（小島 2014・2024）と同様、滋賀県内で刊行された発掘調査報告書を閲覧して出土事例を集成した。各報告書の拓本・写真・本文記述・観察表を参照して銭種を確認し、表 1 および図 1 を作成した。

（2）集成の条件

集成は以下の条件に基づいて行った。

〔1〕対象となる発掘調査報告書は、滋賀県内で刊行された発掘調査の報告書である。

〔2〕集成の対象となる銭貨は、①寛永通寶以降の徳川幕府鑄造銭②江戸時代に初鑄がなされた地方銭貨（仙臺通寶など）③徳川幕府が鑄造した金貨および銀貨である。個別の銭種については表を参照いただきたい。無文銭のような、国内で鑄造した私鑄銭が出土した遺跡であっても、①～③が全く含まれない場合は集成遺跡から除外している。

〔3〕銭種については、拓本と記述が一致していない例や、間違った銭種名を記述している例が見られるため、原則拓本に基づいて判断を行った。また、拓本が掲載されていない場合は写真から銭種を判断し、写真からの判読も困難な場合あるいは写真も掲載されていない場合は、報告書の記述に則っている。拓本・写真から銭種を判断するにあたって、『日本出土銭総覧』（永井編 1996）に依拠した。

なお、以下においては遺跡名の後に表 1 で示した番号を付している。

3. 銭貨集成の結果

（1）全体の傾向

近世銭貨が出土した遺跡は、表 1 および図 1 に示したよ

うに 74 遺跡を確認した。分布の傾向として、湖南地域および彦根城周辺に事例が比較的集中している。一方、湖西地域の出土事例は少ない。

出土枚数について、合計 839 枚の銭貨を確認した。出土枚数が最も多かった遺跡は蓮光寺（42）（1）の 217 枚であった。いずれも一か所あたりの出土枚数が 1,000 枚に達しておらず（2）、近世銭貨を含む備蓄銭は確認されなかった。全国的な傾向として、中世では盛んに行われていた備蓄銭の埋納行為は近世で見られなくなるが、近江地域でも同様の様子がうかがえる。

なお、古代銭貨・渡来銭貨・近現代銭貨を含めた場合、出土枚数は合計 2,073 枚にのぼり、最も出土枚数が多かった遺跡は唐橋遺跡（7）の 788 枚である。

（2）銭種

最も多く見つかった銭種は寛永通寶であるが、そのうち 90% 以上を一文銭が占めていた。四文銭は集成した寛永通寶の約 0.7% にあたるわずか 4 枚にとどまり、十文銭については確認されなかった。また、一文銭では出土枚数の多い順から新寛永（図 2 の 1 ～ 11、13）、古寛永（図 2 の m100）、文銭（図 3 の 418）があるが、これらの出土枚数は発行期間に比例しており、特殊な状況を示すものではない。

以下、特徴的な銭種について紹介する。

豆板銀 秤量貨幣の銀貨である。多景島遺跡（19）（図 3 の 421）や松原内湖遺跡（21）で出土した。

寛永通寶四文銭 明和 5 年（1768）以降に発行された。一文銭と異なる特徴として、背面に波紋が刻まれている。この波紋は発行時期によって数が異なり、明和 5 年の例は 21 波（図 3 の 422）、明和 6 年（1769）以降の例は 11 波（図 3 の 423・424）である（永井編 1998）。多景島遺跡（19）・北牧野古墳群（61）で出土した。

天保通寶 天保 6 年（1835）以降断続的に発行されている銭貨である。1 枚百文という価値の高さもあってか、まとまって発見されることが少ない（永井編 1998）。多景島遺跡（19）（図 3 の 425 ～ 427）・中畑遺跡（44）・植城遺跡（59）で出土しているが、どの遺跡も出土枚数は 1 ～ 3 枚にとどまる。

文久永寶 文久 3 年（1863）以降、徳川幕府が金座・銀座に鑄造させた四文銭である（永井 1996）。多景島遺跡（19）（図 4）・松原内湖遺跡（21）・八幡城下町遺跡（36）・二町鏡遺跡（54）等 7 遺跡で出土した。

雁首銭 煙管の雁首を潰した銭形模造品である。緡銭に紛れ込ませて使われる（永井編 1998）。唐橋遺跡（7）（図 2 の Z758）で出土した。

（3）出土状況

①遺跡別出土枚数

出土枚数が多い上位 10 遺跡を表 2 に示した。最も出土

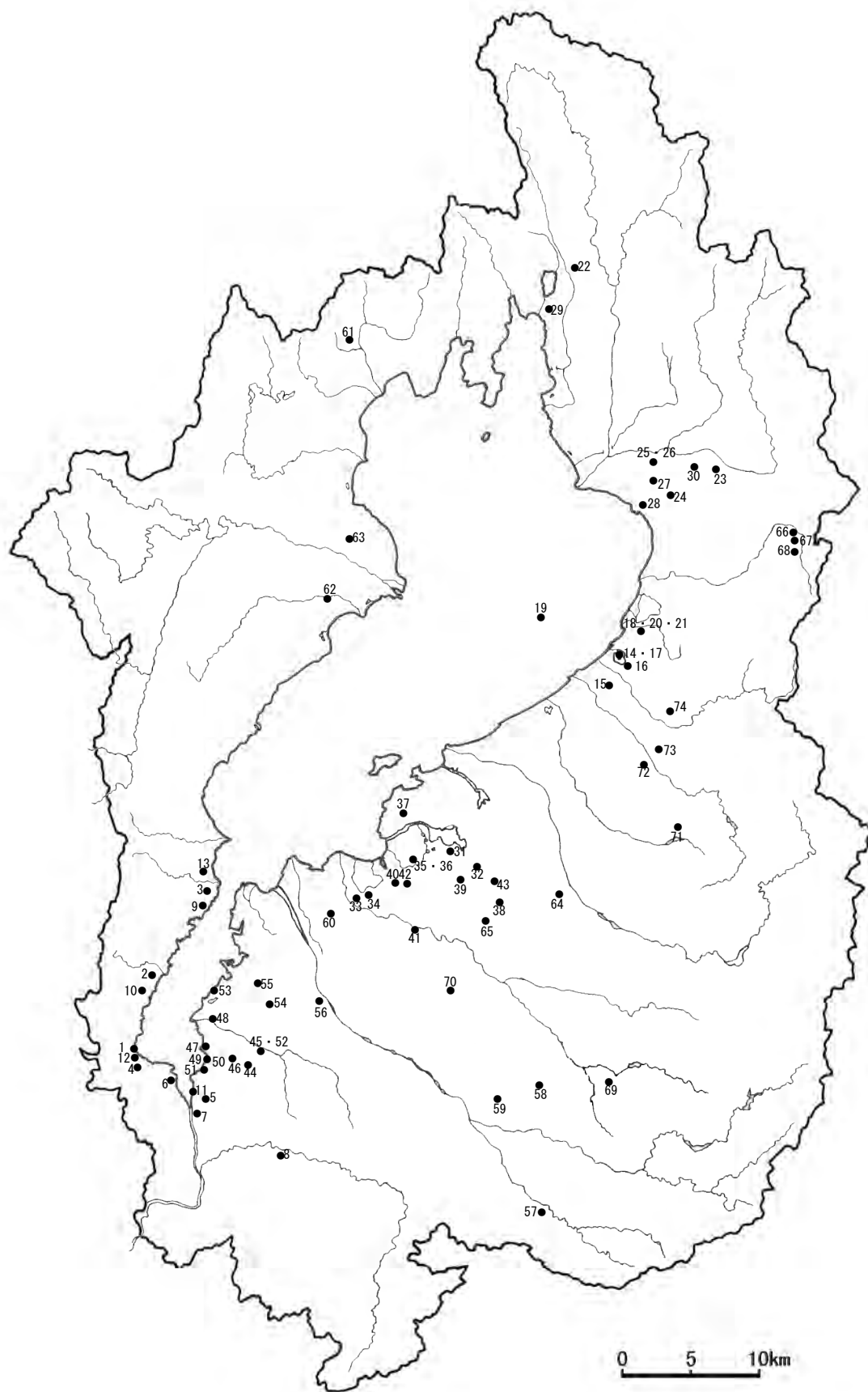


図1 近世銭貨出土遺跡分布図

表1 近江地域出土の近世銭貨

番号	遺跡名	所在地	遺跡の種類	遺構	寛永通寶										その他銭貨												
					古寛永	寛永文銭	新寛永	寛永鉄一文	寛永真鍮四文	寛永鉄四文	寛永十文	寛永通寶（詳細不明）	寛永通寶小計	天保通寶	文久永寶	仙臺通寶	箱館通寶	琉球通寶	題目銭	念仏銭	六一銭	絵銭	古代銭貨	渡来銭（模造銭含む）	近現代銭貨	判読不明銭	その他銭小計
1	大津城跡	大津市 浜大津	城跡	土水施設・包舎層	2	1636	1668	1697	1739	1768	1860	1708	6	1835	1862	1784	1857	1862							6	6	
2	日吉神宮寺遺跡	大津市 坂本	寺院跡	礎石建物跡				1					1												32	32	
3	真野塚寺	大津市 真野	集落跡	造成地（落ち込み）				2					2												0	0	
4	大津城跡	大津市 浜大津	城跡	井戸	1								1												0	0	
5	山ノ神遺跡	大津市 大津	集落跡	庭敷跡	1			1					2												0	0	
6	藩所城下町遺跡	大津市 膳所	集落跡・官衙跡	井戸・土坑・溝など	8	2	10					20													0	0	
7	唐橋遺跡	大津市 瀬田	交通遺跡		3	1	7					11													0	0	
8	上田上牧遺跡	大津市 上田上牧町	集落跡・墓跡	表採・溝			1					1													4	4	
9	浮御所遺跡	大津市 登田	その他	包舎層・表土	3		3					6													1	1	
10	穴太遺跡	大津市 穴太	その他	掘込			1					1													0	0	
11	大江山底遺跡	大津市 豊野浦・玉野浦	その他	包舎層	4		1					5													1	1	
12	大津藩寺跡	大津市 京町	集落跡	包舎層・水溜跡	1							1													2	2	
13	曹門前遺跡	大津市 真野曹門	集落跡	遺構面上	1							1													0	0	
14	特別史跡彦根城跡	彦根市 金亀町	城跡	土坑・漆喰製造機・包舎層	3		3					1	7												6	6	
15	福壽遺跡	彦根市 吾今町	集落跡	遺構面上			1					1													0	0	
16	彦根城下町遺跡	彦根市 京町	城下町跡	遺構面上			11					1	12												0	0	
17	特別史跡彦根城跡	彦根市 金亀町	城跡	表採	1								1												0	0	
18	松原内沼遺跡	彦根市 松原町	集落跡	掘込・耕作法・包舎層	2		1					3													0	0	
19	多喜島遺跡	彦根市 八坂町	散布地	掘込・耕作法・包舎層	34	21	84		3			2	144	3	14										24	20	61
20	松原内沼遺跡	彦根市 松原町	集落跡	包舎層			1						1												41	2	43
21	松原内沼遺跡	彦根市 松原町	集落跡	庭敷跡・道路跡・遺構面上・包舎層	5		3					2	10		2										1		3
22	坂口遺跡	彦根市 余呉町坂口	神社跡	神社跡								1	1		1										4	1	5
23	犬飼古墳	彦根市 堀龍町	古墳・墓跡	盗掘坑			1						1												0	0	
24	大通寺遺跡	彦根市 元浜町	寺院跡	溝・遺構面上	3		4					7			1										3		4
25	小沢坂遺跡	彦根市 小沢町	城跡	土坑			1					1													0	0	
26	小沢坂遺跡	彦根市 小沢町	城跡	土坑			1					1													0	0	
27	蔵江町遺跡	彦根市 三ツ矢元町	城跡	掘込	1							1													0	0	
28	長井坂遺跡	彦根市 公園町本丸	城跡	造成土			6					6													0	0	
29	塩津津遺跡	彦根市 西栗井町塩津浜	神社跡	包舎層			1					1													0	0	
30	南小足遺跡	彦根市 南小足町	集落跡・墓跡	表土			1					1													0	0	
31	高木遺跡	彦根市 湊小井町	集落跡・墓跡	表採			2					2													0	0	
32	小中遺跡	彦根市 安土町小中	集落跡	耕作痕？			2					2													0	0	
33	寺田遺跡	彦根市 小田	集落跡・祭祀遺跡・散布地	耕作痕？			1					1													0	0	
34	一里塚古墳	彦根市 小田	古墳	造成土	1								1												0	0	
35	八幡坂下町遺跡	彦根市 熊平治町	集落跡・城下町跡	遺構面上	1		2					3													0	0	
36	八幡坂下町遺跡	彦根市 熊平治町	集落跡・城下町跡	遺構面上									0												1	1	
37	島遺跡	彦根市 島町	集落・畑地	表採・遺構跡・遺物集中地点	2	3	5					10													0	0	
38	常楽遺跡	彦根市 西生来町	集落跡	表土			1					1													0	0	
39	金剛寺遺跡	彦根市 安土町慈恩寺	寺院跡	表採	1							1													0	0	
40	加茂遺跡	彦根市 加茂町	集落跡	溝・井戸	1							1													4	1	5
41	辻野遺跡	彦根市 安養寺町	集落	土坑・井戸			4																		0	0	
42	蓮光寺	彦根市 加茂町	現存寺院	不詳発見									0												0	0	
43	上出A遺跡	彦根市 安土町上出	集落				1					1													0	0	

表1 近江地域出土の近世銭貨

番号	遺跡名	所在地	遺跡の種類	遺構	寛永通寶										その他銭貨										
					古寛永	寛永文銭	新寛永	寛永鉄一文	寛永真鍮四文	寛永鉄四文	寛永十文	寛永通寶（詳細不明）	寛永通寶小計	天保通寶	文久永寶	仙臺通寶	箱館通寶	琉球通寶	題目銭	念仏銭	穴一銭	絵銭	古代銭貨	渡来銭（模範銭含む）	近現代銭貨
44	中田遺跡	草津市	矢倉・西矢倉・草津	集落跡・墓跡	包含層	3	1668	1697	1739	1768	1860	1708	4	1									1		2
45	草津宿場町遺跡	草津市	草津	集落跡	柱穴・遺構面上	1	2						1	4											0
46	御倉遺跡	草津市	御倉町	集落跡	溝？	1								1											0
47	北堂遺跡	草津市	矢橋町	散布地									4	4									48	10	58
48	七条浦遺跡	草津市	下笠町	散布地	遺構面上			1						1									3	4	4
49	矢橋川底遺跡	草津市	矢橋町	散布地		31	10	59					100												44
50	矢橋川跡	草津市	矢橋町	河跡	安堤	8	1	25					2	36											6
51	南東浦遺跡	草津市	矢橋町	集落跡	溝			1					1												0
52	草津宿場町遺跡	草津市	草津	交通遺跡	遺構面上	2		2					4	4											4
53	志保川底遺跡	草津市	志保町	墓跡・集落跡	包含層	3							3	3										6	6
54	二町館遺跡	守山市	二町町	集落跡	井戸？								0	1											1
55	牧置川遺跡	守山市	牧置町	集落跡	河道・自然道路	1		1					2												0
56	辻遺跡	栗東市	辻	集落跡	遺構面上								0												2
57	竜法師城遺跡	甲賀市	甲南町竜法師	城跡	表土									0											1
58	宮町遺跡	甲賀市	水口町水口	城跡	包含層・土坑・掘立柱建物		1	1					1	3											0
59	穂波遺跡	甲賀市	水口町穂波	城跡	堀・ピット・包含層	1		4					5	1										1	2
60	大田遺跡	野洲市	小比江	集落跡	溝			1						1											0
61	北牧野古墳群	高島市	マキノ町牧野	古墳	包含層				1					1											0
62	天神畑遺跡	高島市	鴨・安曇川町三尻里	古墳	河道竈土	1							1	1										1	1
63	南畑古墳群	高島市	新旭町安井川	古墳	古墳								1	1											0
64	日吉・吉在池遺跡	東近江市	建部日吉町	包含層	包含層	1							1	1										1	1
65	浄土園敷遺跡	東近江市	上平木町	集落跡	溝	1							1												0
66	室町分遺跡	米原市	清瀬	寺院跡・墓跡	土坑・包含層	2							2												0
67	清瀬寺遺跡・能仁寺遺跡	米原市	清瀬	寺院跡・墓跡	土坑								1	1										2	2
68	清瀬寺遺跡	米原市	清瀬	寺院跡				1						1											0
69	風呂沢遺跡	日野町	寺丘	集落跡	溝								1	1											0
70	堤ヶ谷遺跡	船王町	四屋	墓跡	火葬場・土盛・墓跡など								6	76										48	1
71	金御崎寺遺跡	栗田町	松尾寺	寺院跡	包含層	32	38		4				4												2
72	小川原遺跡	甲賀市	小川原	集落	石垣				1					1											0
73	般若寺遺跡	多賀町	般若寺	集落跡	表土が横断				1					1											0
74	木曾遺跡	多賀町	木曾・中川原	集落	井土				1					1											0

表1 近江地域出土の近世銭貨

番号	遺跡名	金石類	貨幣模造品												合 計	出 典	特記事項													
			碓 石 金	蛭 藻 金	小 判 金	二 分 判 金	一 分 判 金	二 朱 判 金	一 分 銀	古 南 銀 二 朱 銀	新 南 銀 二 朱 銀	文 銭 南 銀 二 朱 銀	一 朱 銀	丁 銀				豆 板 銀	判 読 不 明 金 銀 貨	金 銀 貨 小 計	一 分 金 形	一 分 銀 形	南 銀 一 朱 銀 形	南 銀 一 朱 銀 形	丁 銀 形	天 保 通 寶 形	真 鍮 製 小 判 ・ 五 両 判	木 製 模 造 銭	厘 首 銭	貨 幣 模 造 品 小 計
16世紀	16世紀	1601	1818	1601	1695	1837	1772	1824	1829	1853	1601	1601		0											0	12	5			
1	大津城跡																									0	33	6	幕定通寶の背「十四」、享祐元寶の背「六」	
2	日吉町堂寺遺跡																									0	2	7		
3	真野屋敷寺																									0	1	8	江戸時代の土師器・瓦器・陶磁器等出土	
4	大津城跡																									0	2	13		
5	山ノ神遺跡																									0	20	32		
6	膳所城下町遺跡																								1	1	788	53		
7	膳橋遺跡																								0	5	59	近世銭は表探		
8	上田上牧遺跡																								0	176	64			
9	浮御堂遺跡																								0	1	64			
10	穴太遺跡																								0	6	64			
11	大江洲底遺跡																								0	3	67	寛永出土包含物からは鉄付皿・横櫛など出土		
12	大津康寺跡																								0	1	68			
13	智門寺遺跡																								0	13	14	拓本なし		
14	特別史跡彦根城跡																								0	1	33			
15	稲津遺跡																								0	12	34	能衣壺らしき信楽焼蓋からヒョウタン型土製品とともに出土		
16	彦根城下町遺跡																								0	1	35			
17	特別史跡彦根城跡																								0	3	36			
18	松原内泊遺跡																								0	206	69			
19	多景島遺跡																								0	44	37			
20	松原内泊遺跡																								0	14	62	豆板銀…拓本のみ（本文に記述なし）		
21	松原内泊遺跡																								0	6	2	報告書では「文久通寶」（文久永寶としてカウント）		
22	坂口遺跡																								0	1	40			
23	犬飼古墳																								0	11	41			
24	大連寺遺跡																								0	1	42			
25	小沢城遺跡																								0	1	47			
26	小沢城遺跡																								0	1	48			
27	長浜町遺跡																								0	6	49			
28	長浜城遺跡																								0	1	50	裏に「小」字 土師器皿・瀬戸美濃陶器蓋・天目茶碗等出土		
29	壺津港遺跡																								0	1	57			
30	南小足遺跡																								0	2	19			
31	高木遺跡																								0	2	25			
32	小中遺跡																								0	1	26			
33	寺田遺跡																								0	1	27			
34	一里塚古墳																								0	3	28			
35	八幡城下町遺跡																								0	1	29			
36	八幡城下町遺跡																								0	10	30	背元の断面永1点		
37	島遺跡																								0	1	43			
38	常衛遺跡																													

表1 近江地域出土の近世銭貨

番号	遺跡名	金類貨												貨幣模造品												合 計	出 典	特記事項		
		碓 石 金	蛭 薬 金	小 判 金	二 分 判 金	一 分 判 金	二 朱 判 金	一 分 銀	古 南 銀 二 朱 銀	新 南 銀 二 朱 銀	文 銭 南 銀 二 朱 銀	一 朱 銀	丁 銀	豆 板 銀	判 読 不 明 金 銀 貨	金 銀 貨 小 計	一 分 金 形	一 分 銀 形	南 銀 一 朱 銀 形	商 銀 一 朱 銀 形	丁 銀 形	天 保 通 寶 形	真 鍮 製 小 判 ・ 五 両 判	木 製 模 造 銭	厘 首 銭				貨 幣 模 造 品 小 計	
		16世紀	16世紀	1601	1818	1601	1695	1837	1772	1824	1829	1853	1601	1601		0										0	6	12		
44	中畑遺跡															0											0	6	12	
45	草津宿場町遺跡															0											0	4	15	
46	御倉遺跡															0	1	18								0	1	18		
47	北雲遺跡															0										0	62	54	拓本・写真なし	
48	七条浦遺跡															0										0	5	65		
49	矢橋湖底遺跡															0	144	66								0	144	66		
50	矢橋津跡															0										0	42	66		
51	南東浦遺跡															0	1	16								0	1	16		
52	草津宿場町遺跡															0										0	8	17		
53	志保湖底遺跡															0										0	9	65		
54	二町跡遺跡															0	1	20								0	1	20	同遺構から堀も出土	
55	欲賀町遺跡															0										0	2	21		
56	辻遺跡															0	2	22								0	2	22	拓本なし	
57	竜法師城遺跡															0	1	23								0	1	23		
58	菅野遺跡															0										0	3	24		
59	桶坂遺跡															0	7	63								0	7	63		
60	太田遺跡															0	1	45								0	1	45		
61	北牧野古墳群															0	1	9								0	1	9		
62	天神畑遺跡															0										0	2	10		
63	神畑古墳群															0										0	1	11	本文の記述に基づく（拓本なし・写真から判読不能）	
64	日吉・宮住池遺跡															0	2	1								0	2	1		
65	湧土屋敷遺跡															0										0	1	3		
66	宝持寺遺跡															0	4									0	4	18世紀～近代の陶磁器も出土		
67	清滝寺遺跡・能仁寺遺跡															0	3	51								0	3	51	早稲らしき痕跡が残る土坑から出土・同遺構より瀬戸美濃指鉢・土師器皿など出土	
68	清滝寺遺跡															0	1	52								0	1	52		
69	風呂流遺跡															0										0	1	58	拓本・写真なし	
70	堤ヶ谷遺跡															0	126	31								0	126	31		
71	金剛峰寺遺跡															0										0	6	38	不明銭のうち1枚は写真のみ（拓本・報告書の記述なし）	
72	小川原遺跡															0	1	56								0	1	56		
73	観音寺遺跡															0										0	1	39		
74	木曾遺跡															0	1	55								0	1	55		

表 2 大量出土遺跡一覧表 (1)

（古代銭貨・渡来銭貨・近現代銭貨を含まない）

滋賀県での順位	遺跡名	枚数	滋賀県での割合
1	蓮光寺 (42)	217	26%
2	多景島遺跡 (19)	162	19%
3	矢橋湖底遺跡 (49)	107	13%
4	堤ヶ谷遺跡 (70)	78	9%
5	矢橋港跡 (50)	38	5%
6	唐橋遺跡 (7)	32	4%
7	膳所城下町遺跡 (6)	20	2%
8	松原内湖遺跡 (21)	13	2%
9	特別史跡彦根城跡 (14)	13	2%
10	彦根城下町遺跡 (16)	12	1%

※太字は古代銭貨・渡来銭貨・近現代銭貨を含む場合、含まない場合両方で上位10遺跡に入っている遺跡

表 3 大量出土遺跡一覧表 (2)

（古代銭貨・渡来銭貨・近現代銭貨を含む）

滋賀県での順位	遺跡名	枚数	滋賀県での割合
1	唐橋遺跡 (7)	788	38%
2	蓮光寺 (42)	217	10%
3	多景島遺跡 (19)	206	10%
4	浮御堂遺跡 (9)	176	8%
5	矢橋湖底遺跡 (49)	144	7%
6	堤ヶ谷遺跡 (70)	126	6%
7	北萱遺跡 (47)	62	3%
8	松原内湖遺跡 (20)	44	2%
9	矢橋港跡 (50)	42	2%
10	日吉神宮寺遺跡 (2)	33	2%

枚数が多かった遺跡は蓮光寺 (42) の 217 枚で、総枚数の 26% を占める。なお、この遺跡からは小判金・一分判金のみが出土しており、寛永通寶・天保通寶などの銭は含まれていない。次いで 2 位:多景島遺跡 (19) の 162 枚、3 位:矢橋湖底遺跡 (49) の 107 枚が 100 枚以上出土した遺跡である。逆に、出土枚数が最も少ない = 1 枚のみの遺跡は 30 遺跡あり、出土遺跡の約 41% を占める。また、近世銭貨の出土枚数が 10 枚以下の遺跡は 64 遺跡あり、出土遺跡の約 76% を占める。

古代銭貨・渡来銭貨・近現代銭貨を含めた場合の出土枚数が多い上位 10 遺跡を表 3 に示した。最も出土枚数が多いのは唐橋遺跡 (7) の 788 枚で、総枚数の 38% を占める。以下、2 位:蓮光寺 (42) の 217 枚、3 位:多景島遺跡 (19) の 206 枚と続き、126 枚が出土した 6 位:堤ヶ谷遺跡 (70) まだが 100 枚以上出土した遺跡である。また、上位 10 遺跡の出土枚数は計 1,838 枚で、全体の 89% を占める。また、古代銭貨・渡来銭貨・近現代銭貨および近世銭貨の合計出土枚数が 10 枚以下の遺跡は 58 遺跡あり、出土遺跡の約 78% を占める。

古代銭貨・渡来銭貨・近現代銭貨を含めた場合・それらを除外した場合の両方で出土枚数が多い上位 10 遺跡に上がっている遺跡は唐橋遺跡 (7)・蓮光寺 (42)・多景島遺跡 (19)・矢橋湖底遺跡 (49)・矢橋港跡 (50)・堤ヶ谷遺跡 (70) の 6 遺跡である。多景島遺跡 (19)・矢橋湖底遺跡 (49)・矢橋港跡 (50) は沿岸部の湖底遺跡、唐橋遺跡は川底の遺跡であるが、この付近で近世のみならず長期間人の往来があったことが窺える。

②出土状況

a. 墓・葬送関連遺構

近世は、六道銭の習俗が定着した時期である。今回の集成において、火葬場など葬送関連遺構などを含めると墓跡から近世銭貨が出土したのは 7 例確認された。

堤ヶ谷遺跡 (70) この遺跡では、中世から近代の大規模な墓跡群が見つかり、火葬場そばの土盛りや落ち込みで寛永通寶が多く出土した。火葬場の本体から寛永通寶は見つからないが、先述の土盛りから念仏銭が出土しているところから、これらの土盛り・落ち込みには火葬場・墓に関連する遺物が含まれている。また、この遺跡では多数の土坑墓が見つかったが、そのうち渡来銭のみで構成された六道銭を伴うものも多い。

b. 寺社

寺社から近世銭貨が出土したのは 9 例見つかった。寺社から見つかった銭貨は奉賽銭の可能性はあるが、今回集成した中では一例あたり 50 枚に満たない事例が多い。

蓮光寺 (42) 現存する寺院から金貨が不時発見された例である。白磁壺からは文政小判金を含む小判金 60 枚、一分判金 157 枚が見つかった。この金貨を銭貨に換算すると 397,000 文 (397 貫) ～ 515,125 文 (515 貫 125 文) 程度に相当する (3)。

c. 湖底・川底

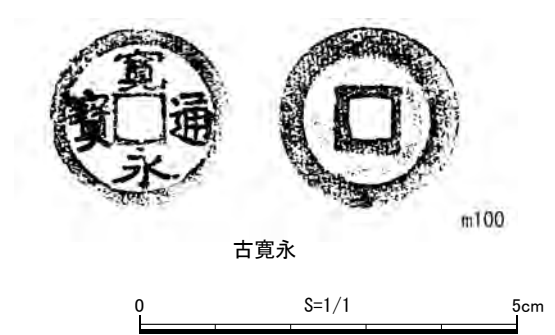
近江地域では多くの湖底・湖岸遺跡で発掘調査が行われている。湖底・湖岸遺跡の発掘調査では、出土遺構が明確ではない事例が多いものの、銭貨の出土事例が複数確認された。

唐橋遺跡 (7) 瀬田川流域・現在の瀬田唐橋付近で行われた潜水調査である。橋脚の一部が見つかったことで知ら

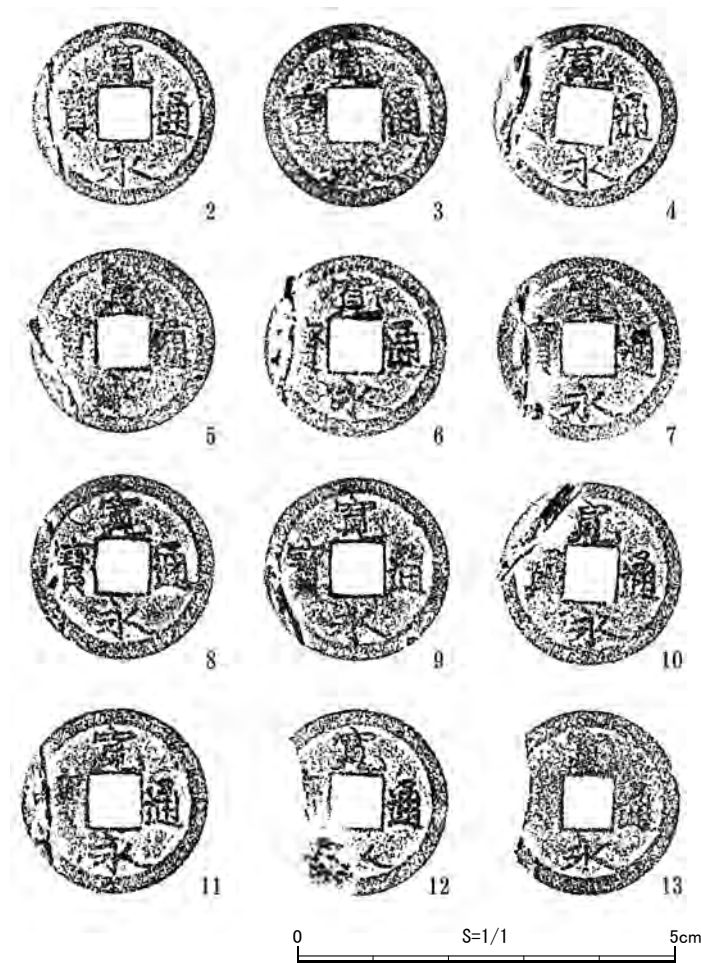
【唐橋遺跡（7）出土】



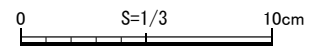
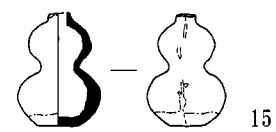
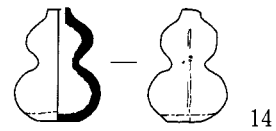
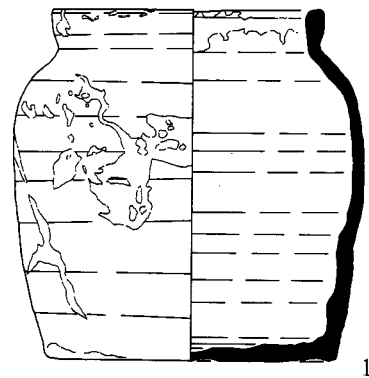
【堤ヶ谷遺跡（70）出土】



【彦根城下町遺跡（16）出土】



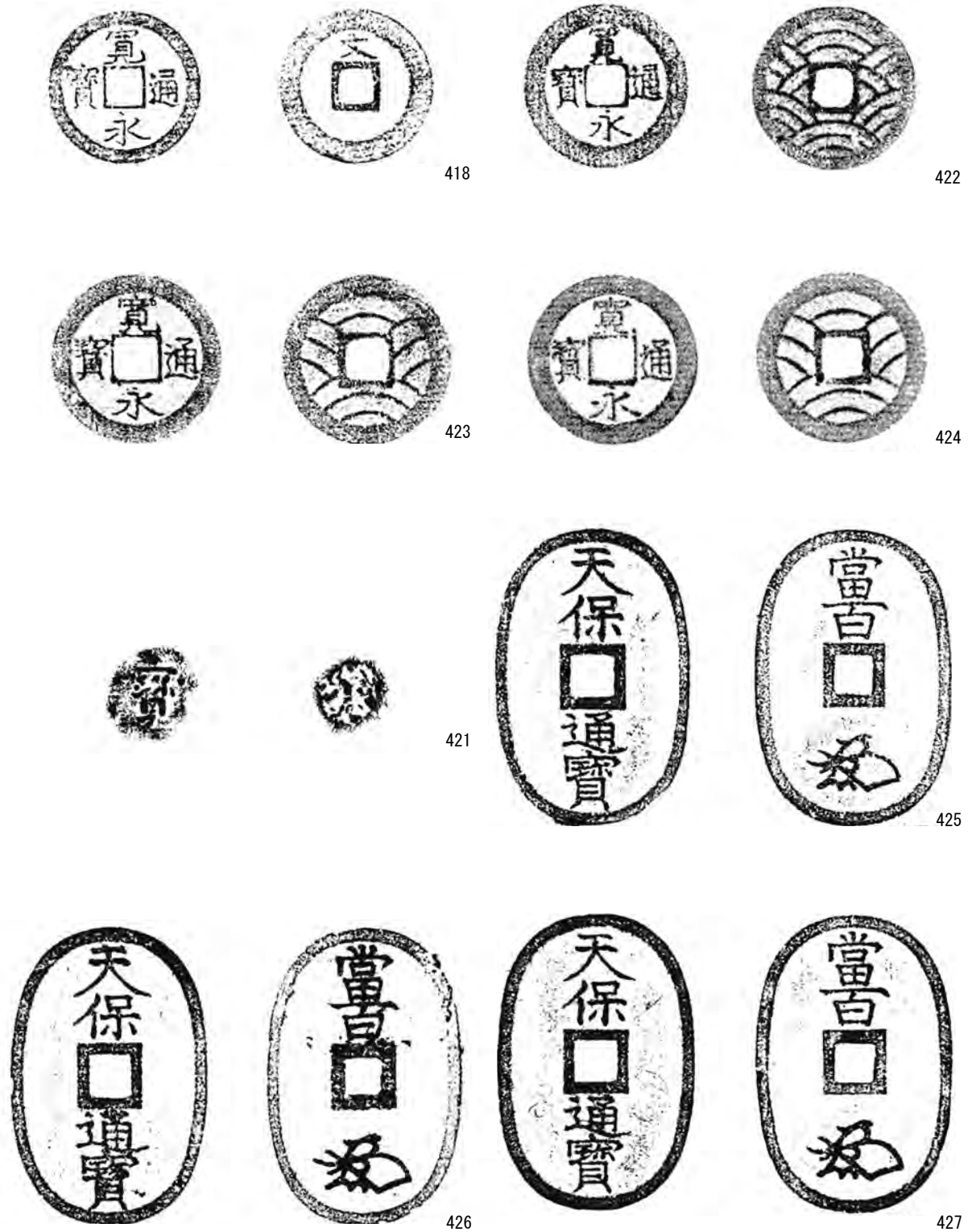
胞衣壺に入っていた寛永通寶（2～11、13は新寛永）



胞衣壺（1）と胞衣壺に入っていた
ヒョウタン形土製品（14、15）

図2 特徴的な銭貨(1)

【多景島遺跡（19）】

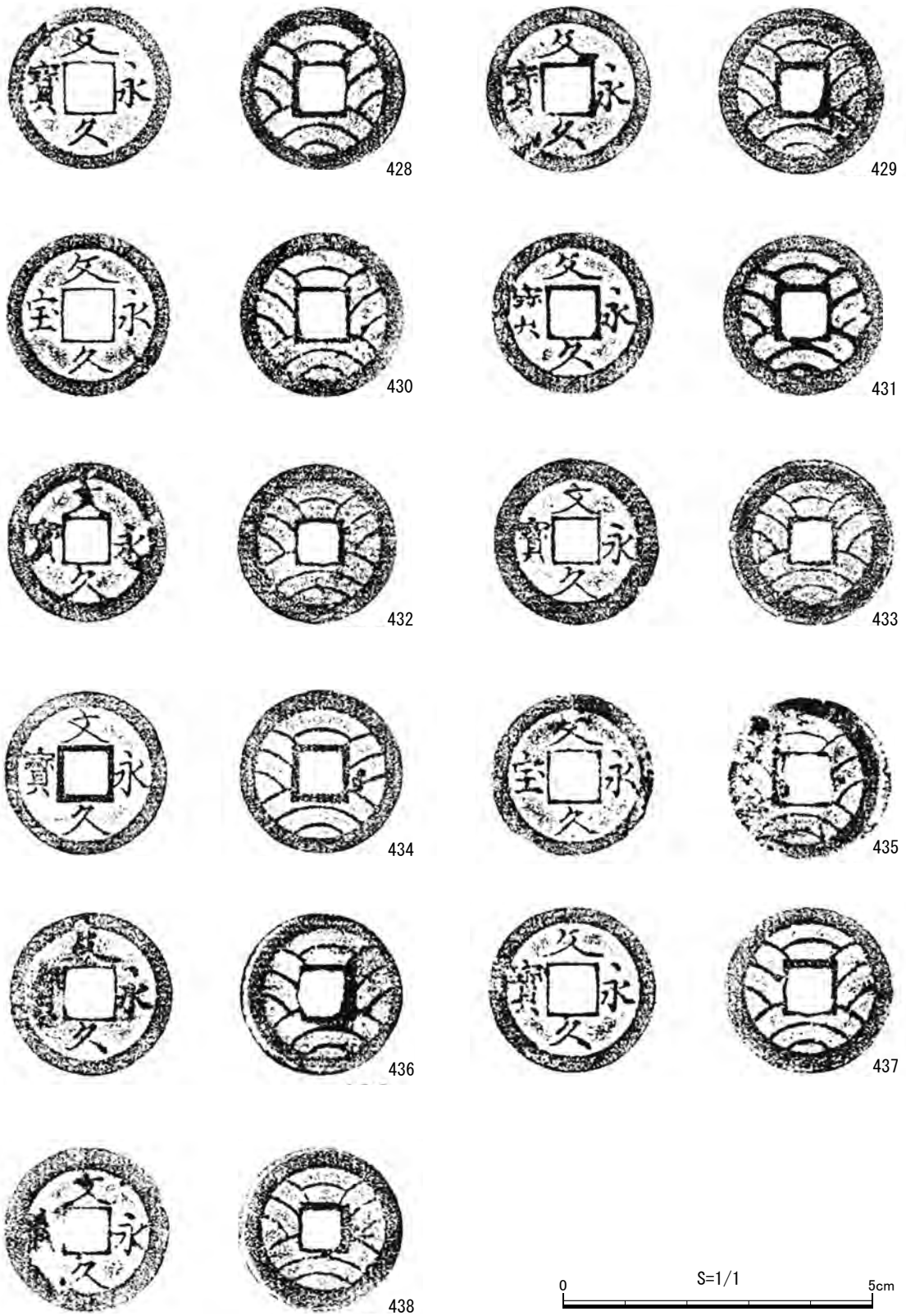


寛永通寶文銭（418）、寛永通寶四文銭（422～424）、豆板銀（421）天保通寶（425～427）

0 S=1/1 5cm

図3 特徴的な銭貨（2）

【多景島遺跡（19）】



文久永寶（428～438）

図4 特徴的な銭貨(3)

れるが、無文銀銭から近代銭まで幅広い時代の銭貨が出土した。近世銭貨としては古寛永・文銭・新寛永が出土した。**多景島遺跡（19）** 多景島沿岸で発掘調査が行われた。調査では目立った遺構は見つかっていないが、弥生土器・須恵器・土師器・黒色土器・陶磁器など幅広い時代の遺物が出土している。銭貨においても例外ではなく、古代銭貨から近代銭まで出土した。近世銭としては古寛永・文銭（図3の418）・新寛永に加え、四文銭の寛永通寶（図3の422～424）・天保通寶（図3の425～427）・文久永寶（図4）、豆板銀（図3の421）が出土している。

d. 胞衣壺埋納銭

胞衣壺に銭貨や刀子等を埋納する習慣は古代から見られるが、近世でも同様の習俗が続いていることが確認された。**彦根城下町遺跡（16）** 建物跡とみられる礎石列の東から信楽焼壺が出土した。この壺からは寛永通寶12枚・瓢箪形陶器2点が納められていた（図2）。この壺は建物付近で出土したことや、壺に銭貨・瓢箪形陶器が入っていた（4）ことから、胞衣壺とみられる。

4. おわりに

本稿では、近江地域の近世銭貨について、今後近世の銭貨流通等を研究する上での基礎データを提示した。おわりに代えて、集成をした中で注目すべき点について述べる。中世ではよく見られた備蓄銭だが、1遺跡あたりで出土した銭貨は1,000枚に満たず、備蓄銭が近世では確認されなかった。その原因の一つに、近世には金銀貨が公鑄されており、大量の銭貨に替わって金銀貨による備蓄・埋納を行っていたことが想定される。金銀貨は出土資料が少なく（永井編1996、永井編1998）、備蓄銭の減少との因果関係がまだ明確には示せない。また、備蓄銭減少の原因に、備蓄銭自体は存在しているが、現時点で確認されていないことも想定される。

こうしたことも含め、近世の出土銭貨については継続的にデータ収集が必要である。

註

- （1）この銭貨が出土した場所は、遺跡地図が示す埋蔵文化財包蔵地では加茂遺跡に属するが、蓮光寺の境内で出土しており、この寺院との関連が深いと判断されるため、本稿では「蓮光寺」として扱う。
- （2）鈴木1999をはじめとした多くの研究では、「一ヶ所あたり1000枚以上出土した銭貨」を備蓄銭として扱っており、本論でもこれに従う。
- （3）元禄13（1700）年および天保13（1842）年における相場（日本銀行金融研究所貨幣博物館編2017）に基づいて換算した。
- （4）縁起物を添えて胞衣埋納を行う場合がある（山近2010）

文献（著者名・機関名五十音順、刊行年順）

- 小島孝修（2014）「近江出土の渡来銭貨」『紀要』第27号 公益財団法人滋賀県文化財保護協会
- 小島孝修（2024）「近江出土の渡来銭貨（2）」『紀要』第37号 公益財団法人滋賀県文化財保護協会
- 滋賀県（2022）『令和3年度 滋賀県遺跡地図』
- 鈴木公雄（1999）『出土銭貨の研究』東京大学出版会
- 金子裕之（2011）「道教」田中琢・佐原真編『日本考古学事典』三省堂
- 高橋照彦（2004）「銭貨とケガレと呪力」『出土銭貨』第20号 出土銭貨研究会
- 辻川哲朗（2005）「近江地域出土の古代銭貨」『紀要』第18号 財団法人滋賀県文化財保護協会
- 永井久美男編（1996）『日本出土銭総覧』兵庫埋蔵銭調査会
- 永井久美男編（1998）『近世の出土銭Ⅱ』兵庫埋蔵銭調査会
- 日本銀行金融研究所貨幣博物館編（2017）『貨幣博物館 常設展示図録』
- 山近久美子（2010）「平城京における胞衣埋納の選地」『人文地理』第62巻第3号 一般社団法人人文地理学会

遺跡典拠文献

数字は表1内「出典」に対応する。

- 1 滋賀県教育委員会・八日市市教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1984）『日吉・吉住池遺跡発掘調査報告書』
- 2 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1984）『北陸自動車道関連遺跡発掘調査報告書Ⅱ』
- 3 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2013）『浄土屋敷遺跡Ⅱ』（は場整備関係（経営体育成基盤整備）遺跡発掘調査報告書40-1）
- 4 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1987）「宝持坊遺跡発掘調査報告書」
- 5 大津市教育委員会（2014）『大津城跡発掘調査報告書』（大津市埋蔵文化財調査報告書（70））
- 6 大津市教育委員会（2016）『日吉神宮寺遺跡発掘調査報告書』（大津市埋蔵文化財調査報告書（96））
- 7 大津市教育委員会（2017）『真野廃寺発掘調査報告書Ⅲ一都市計画道路3・4・21号道路改良事業に伴う一』（大津市埋蔵文化財調査報告書（107））
- 8 大津市教育委員会（2023）『埋蔵文化財発掘調査集報Ⅸ 平津池ノ下遺跡 南滋賀遺跡 大津城跡』（大津市埋蔵文化財調査報告書（150））
- 9 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2010）『北牧野古墳群』（斧研川荒廃砂防事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書）
- 10 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2013）『天神畑遺跡・上御殿遺跡』（鴨川補助広域機関河川改修事業（青井川）に伴う発掘調査報告書1）
- 11 高島市教育委員会（2019）『南畑古墳群・下平古墳群』（高島市文化財調査報告書第34集）

- 12 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2002）『中畑遺跡Ⅰ』（草津川改修事業ならびに草津川放水路建設事業に伴う発掘調査報告書Ⅴ）
- 13 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会保護協会（1986）『山ノ神遺跡発掘調査報告書』（国道1号京滋バイパス関連遺跡発掘調査報告書第2冊）
- 14 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1986）『特別史跡「彦根城」』（県立彦根東高等学校資料室建設に伴う発掘調査報告書）
- 15 草津市教育委員会（2010）『草津宿場町遺跡（第5次）発掘調査報告書』（草津市文化財調査報告書82）
- 16 草津市教育委員会（2016）『南東浦遺跡第1次発掘調査報告書』（草津市文化財調査報告110）
- 17 草津市教育委員会（2016）『草津宿場町遺跡（第16次）発掘調査報告書』（草津市文化財調査報告125）
- 18 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1990）『御倉遺跡』（ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書ⅩⅦ-12）
- 19 滋賀県教育委員会1990・財団法人滋賀県文化財保護協会（1990）『高木遺跡発掘調査報告書』（長命寺川（蛇砂川）中小河川改修工事関連埋蔵文化財調査報告3）
- 20 守山市教育委員会（2011）『平成21年度国庫補助対象遺跡発掘調査報告書』（守山市文化財調査報告書）
- 21 守山市教育委員会（2012）『欲賀南遺跡発掘調査報告書』（欲賀土地区画整理事業関連発掘調査報告書2）
- 22 栗東市教育委員会（2019）『辻遺跡発掘調査報告書 平成31年度第1次調査』（栗東市文化財調査報告書第159冊）
- 23 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2006）『竜法師城遺跡・池ノ尻遺跡』（県道柑子塩野線緊急地方道路整備事業に伴う発掘調査報告書）
- 24 甲賀市教育委員会（2023）『史跡紫香楽宮跡（宮町地区）発掘調査報告書Ⅰ 朝堂区画・内裏区画の調査』（甲賀市文化財報告書第41集）
- 25 近江八幡市総合政策部文化観光課・近江八幡市教育委員会（2017）『近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書57』
- 26 近江八幡市総合政策部文化観光課・近江八幡市教育委員会（2019）『寺田遺跡13次発掘調査』（近江八幡市埋蔵文化財調査報告書61）
- 27 近江八幡市総合政策部文化振興課（2023）『近江八幡市埋蔵文化財発掘調査報告書7』
- 28 近江八幡市総合政策部文化観光課（2021）『八幡城下町遺跡28次発掘調査報告書』（近江八幡市埋蔵文化財発掘された報告書69）
- 29 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2019）『八幡城下町遺跡』（近江八幡警察署新町交番新築工事に伴う発掘調査報告書）
- 30 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2016）『鳥遺跡』（長命寺川支流補助通常砂防（総流防）工事に伴う発掘調査報告書）
- 31 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2017）『堤ヶ谷遺跡』（滋賀竜王工業団地造成工事に伴う発掘調査報告書）
- 32 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2005）『膳所城下町遺跡』（滋賀県立膳所高等学校校舎等改築工事に伴う発掘調査報告書）
- 33 彦根市教育委員会（2017）『福満遺跡ⅩⅦ―店舗建設工事に伴う発掘調査―』（彦根市埋蔵文化財調査報告書第69集）
- 34 彦根市（2021）『彦根城下町遺跡第3次発掘調査報告書―建売住宅建設工事に伴う発掘調査―』（彦根市埋蔵文化財調査報告書第86集）
- 35 彦根市教育委員会（2011）『名称玄宮楽々園範囲確認調査報告書』
- 36 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（2011）『松原内湖遺跡』（琵琶湖流域下水道事業（東北部浄化センター増設工事）に伴う発掘調査報告書2）
- 37 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2022）『松原内湖遺跡』（一般国道8号米原バイパス建設に伴う発掘調査報告書4）
- 38 秦荘町教育委員会（2000）『金剛輪寺遺跡発掘調査報告Ⅲ』（秦荘町文化財調査報告書第15集）
- 39 多賀町教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会（2022）『敏満寺遺跡 名神高速道路（仮称）多賀スマートインターチェンジ下り線建設工事に伴う事前発掘調査』（多賀町埋蔵文化財発掘調査報告書第24集）
- 40 長浜市教育委員会（2005）『詳細遺跡分布調査報告書2―横山古墳群・横山城跡および関連諸確認調査―』（長浜市埋蔵文化財調査報告書第64集）
- 41 長浜市教育委員会（2012）『大通寺遺跡 第19次調査報告書』（長浜市埋蔵文化財調査資料第137集）
- 42 長浜市教育委員会（2019）『平成29年度小規模開発関連発掘調査報告書』（長浜市埋蔵文化財調査資料第173集）
- 43 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1993）『常衛遺跡・観音寺城下町遺跡』（県営かんがい排水事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅹ-3）
- 44 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1993）『慈恩寺・金剛寺遺跡』（県営かんがい排水事業関連遺跡発掘調査報告書Ⅹ-4）
- 45 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1994）『小比江遺跡・太田遺跡』（県道荒見上野近江八幡線改良工事に伴う中主町内発掘調査報告書Ⅰ）
- 46 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会（1994）『主加茂遺跡・一ノ坪遺跡発掘調査報告書』（要地方道大津・能登川・長浜線改良工事に伴う）
- 47 長浜市教育委員会（2019）『平成29年度小規模開発関連発掘調査報告書』（長浜市埋蔵文化財調査資料第173集）
- 48 長浜市（2022）『令和2年度小規模開発関連発掘調査報告書』（長浜市埋蔵文化財調査資料第181集）
- 49 長浜市（2021）『令和元年度小規模開発関連発掘調査報告書』（長

- 浜市埋蔵文化財調査資料第 180 集)
- 50 米原市教育委員会 (2005)『米原町内中世城館跡分布調査報告書』
(米原市埋蔵文化財調査報告書第 1 集)
- 51 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会 (2014)『清滝寺遺跡・能仁寺遺跡Ⅱ』(能仁寺川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書)
- 52 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (2012)『清滝寺遺跡・能仁寺遺跡』(能仁寺川通常砂防工事に伴う発掘調査報告書)
- 53 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1992)『唐橋遺跡』(瀬田川浚渫工事関連文化財埋蔵発掘調査報告書 2)
- 54 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1994)『北萱遺跡発掘調査報告書』(草津川改修事業に伴う発掘調査報告書)
- 55 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1996)『木曾遺跡』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 X X Ⅲ - 2)
- 56 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1996)『小川原遺跡 3』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 X X Ⅲ - 5)
- 57 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1997)『南小足遺跡』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 X X Ⅳ - 2)
- 58 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1997)『風呂流遺跡』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 X X Ⅳ - 8)
- 59 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1998)『上田上牧遺跡Ⅱ』(ほ場整備関連遺跡発掘調査報告書 X X V - 4)
- 60 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (1999)『上出 A 遺跡』(ほ場整備関係遺跡発掘調査報告書 27 - 4)
- 61 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (2000)『辻野遺跡』(国道 477 号道路改築事業に伴う発掘調査報告書)
- 62 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (2006)『松原内湖遺跡』(琵琶湖流域下水道事業(東北部浄化センター増設工事)に伴う埋蔵文化財調査報告書)
- 63 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (2006)『植城遺跡』(ほ場整備関係(経営体育成基盤整備事業)遺跡発掘調査報告書)
- 64 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (2008)『琵琶湖西南部の湖底・湖岸遺跡』(琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書 8)
- 65 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (2011)『七条浦遺跡・志那湖底遺跡』(琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書 10)
- 66 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会 (2013)『琵琶湖東南部草津川地域の湖底・湖岸遺跡』(琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書)
- 67 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会 (2018)『大津廃寺跡』(NHK 新大津放送会館建設工事に伴う発掘調査報告書)
- 68 滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会 (2024)『大野遺跡・普門南遺跡』(国道 477 号(大津側) 4 車線化工事に伴う発掘調査報告書)
- 69 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 (2014)『琵琶湖東地域の湖底・湖岸遺跡』(琵琶湖開発事業関連埋蔵文化財発掘調査報告書)
- 70「時ならぬお布施に大喜び 近江八幡蓮光寺の小判騒ぎ」京都新聞県民版 1986 年 3 月 4 日刊行 p18
- 挿図典拠**
- 表 1 ～ 3 筆者作成
- 図 1 筆者作成
- 図 2 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 1992 (遺跡典拠文献 53)、彦根市 2021 (遺跡典拠文献 34)、滋賀県教育委員会・公益財団法人滋賀県文化財保護協会 2017 (遺跡典拠文献 31) に拠る。
- 図 3・4 滋賀県教育委員会・財団法人滋賀県文化財保護協会 2014 (遺跡典拠文献 69) に拠る。
- (もりた まゆか：調査課 技師)

ANNUAL BULLETIN
of
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritage
Vol.38 2025.3

私たちは文化財をとおして
ゆたかな滋賀づくりに貢献します。



公益財団法人滋賀県文化財保護協会
Shiga Prefectural Association for Cultural Heritages